

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
豊島 泰子			
金2			
添付ファイル			

科目の概要	この授業では、公衆衛生看護(地域看護)の対象理解や看護活動に必要な基本的知識と関連する知識・技術について講義する。具体的には、①公衆衛生看護の理念と目的、歴史の変遷、②社会環境の変化と健康への影響について、③活動に必要な理論であるプライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、④個人・家族への支援と知識、地区/小地域への支援の知識と技術、地域の住民組織/地域組織への支援についてである。また、⑤行政、産業、学校等多様な場で行われる公衆衛生看護活動について、⑥国際協力、国際的な看護活動、健康危機管理に関する看護活動について講義する。公衆衛生看護(地域看護)は、保健師だけでなく看護師にとっても必要不可欠な学問である。
授業の内容	<p>第1回 ①オリエンテーション(授業の進め方、成績評価の説明等) ②公衆衛生看護(地域看護)の概念(第1章) (1) シラバスを事前に読んでおく (2) 公衆衛生(地域)看護とは、健康の捉え方、活動の場と対象、地域看護学と公衆衛生看護学教科書 p10～p14、を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第2回 公衆衛生(地域)看護の歴史(2章) ・公衆(地域)看護の歴史と地域(公衆衛生)看護活動について 公衆衛生看護の歴史について、教科書、参考書を利用してノートにまとめておく</p> <p>第3回 社会環境の変化と健康への影響(3章) ・社会環境の変化と健康課題 教科書 p20～p24を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第4回 地域保健医療福祉行政と活動に関連する法律(第4章) ・地域保健医療福祉の関係法規、地域看護業務と法律 教科書 p25～p40を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第5回 公衆衛生看護活動に必要な理論(第5章) ・プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、保健行動、ポピュレーションアプローチ 教科書 p41～p59を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第6回 様々な場での公衆衛生(地域)看護活動(第1章) ・行政保健、産業保健活動 教科書 p74～p84、p118～127を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第7回 様々な場での公衆衛生(地域)看護活動(2章、3章) ・学校保健、病院・在宅等 教科書 p112～p117、p86～101を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第8回 地域包括ケアシステムと看護職の役割(2章) ・地域包括ケアシステム、看護職の役割 教科書 p95～p103を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第9回 公衆衛生(地域)看護活動の展開①(第1章) ・家庭訪問とは、健康相談とは 教科書 p130～p135、p141～p146を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第10回 公衆衛生(地域)看護活動の展開②(第1章) ・地域診断とは、健康教育とは 教科書 p161～p167、p150～p151 を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第11回 公衆衛生(地域)看護活動の展開③(第1章) ・グループ支援、組織化 教科書 p181～p186を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第12回 公衆衛生(地域)看護活動の展開④(第2章) ・母子保健活動、成人保健活動 教科書 p187～p192、p197～p200を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第13回 公衆衛生(地域)看護活動の展開⑤(第2章) ・高齢者保健活動、難病、障害者保健 教科書 p204～p208、を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第14回 国際協力(4章) ・国際看護活動 教科書 p255～p264を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>第15回 健康危機管理(3章) ・感染症対策、災害看護活動 教科書 p249～p251を読み、専門用語の意味を調べておく</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	①公衆衛生看護(地域看護)の理念、歴史、生活環境の変化について学び、公衆衛生看護を理解できるようになる。 ②行政、産業、学校、多様な場で行われる公衆衛生看護活動について学び、公衆衛生看護活動を理解できるようになる。

	<p>③公衆衛生看護活動理論であるプライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、個人・家族、地区/小地域、地域の住民組織/地域組織への支援方法について理解できるようになる。</p> <p>④国際的な看護活動について理解できるようになる。</p> <p>⑤健康危機管理に関する看護活動について理解できるようになる。</p> <p>⑥公衆衛生看護活動の展開方法について理解できるようになる。</p>
授業の方法	【授業形態】 講義形式
成績評価の方法	【評価項目】 定期試験 90%、 授業参加度 10%
教科書・テキスト	豊島泰子編集：「看護師のための地域看護学」 ピラールプレス社
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・上野昌江、和泉京子編集(2016) 公衆衛生看護学第2版 中央法規出版 ・標美奈子著(2020) 標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 ・荒賀直子、後閑容子著(2020) 公衆衛生看護学 j p 第5版 インターメディカル
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	・教科書を中心として講義を進めます。専門的なことを学ぶため、事前・事後学習で知識を確実なものにしていく。
履修上の留意事項	保健師課程履修の有無に関わらず、公衆衛生(地域)看護の知識・技術は必要です。積極的な学習を希望します。
オフィスアワー	火曜日 12:30~14:20
課題に対するフィードバックの方法	・講義時にその都度返却する。
実務経験	・保健師
その他	地域で生活する人々の健康と支援方法について学習します。興味を持ち参加されることを期待します。